

学生からのメッセージ

成長

中原 藍子 (福岡歯科大学 第4学年)

私がこの大学に入ったときから今までの4年間を振り返ってみると、いろんな人との出会いが自分を成長させてくれたのではないかと思う。その機会を与えてくれたのが弓道部と学園祭の実行委員であった。どちらも単純にやってみようという気持ちだけで挑戦したが、今思うと自分には大切な時間や経験だったと感じる。



まず弓道部は自分と向き合える場所であった。先生や部員から射形の指導は受けても、精神が統てきてなければ矢が的に当たることはないし、指導された所を意識しすぎると力が入ってうまくいかない。この葛藤の中で精神を鍛えられたと思う。そして学園祭は初めて裏方の仕事を体験させてもらえた場所だった。実行委員の仕事は芸人を呼ぶための交渉やステージ上での企画の作成、地域の方との連携など自分が想像していた以上に内容は複雑だったが、先輩の突然のハプニングにも対応する力や自分の考えを周りの人に堂々と伝える姿勢は、自分には足りないところだったのでとても勉強になった。

今現在、部活動もできず、学園祭も中止となり満足いく学生生活を送れていない。特に二年生は部活動に入ったり行事を経験できなかったりと状況は厳しいと思うが、いずれ部活動や行事などが再開して機会が巡ってきたときには学生としての6年間そして歯科医師となつてからの自分にとって大切なことを吸収し、成長していつてもらいたい。

保護者からのメッセージ

患者さんからの偏差値はトップクラス

伊藤 恒一 (福岡歯科大学 学生後援会 評議員)

福歯大の2期生として卒業、地元岐阜県に戻り開業して39年目。現在長男、次女が母校にお世話になっていきます。国試合格率に於いて一時は私立大学のトップ集団にいた母校も今は残念な状況です。ただこの合格率だけで学生も御父兄も教員の先生方までもが、揃って福歯大に自信を無くしている様に強く感じます。しかし同窓生を見てくださいます。私の知る限りでも各地区の歯科医院で二日の患者さんの来院数がトップだったり、福岡県や熊本県においても複数の診療所を展開、関西地区では長年他大学の先生方との勉強会を主催、大分県では地域活性化活動のリーダーだったり、他大学に負けない優れた社会人としての歯科医師が多数活躍中です。これも以前のメッセージにあった「二人に寄り添う心」を大事にする校風のお陰と考えます。勿論患者さんの前に立てなければその力を発揮することはできません。どうか全力で国家試験を突破してください。後輩の諸君が参戦するまで我々先輩も頑張ります。我々の仕事は高齢者の口腔機能を改善し年金生活の質を高め結果、毎年増加する医療費を抑制する重要な仕事です。ただ、この事に私が気付くのに30年必要でした。



福歯大の2期生として卒業、地元岐阜県に戻り開業して39年目。現在長男、次女が母校にお世話になっていきます。国試合格率に於いて一時は私立大学のトップ集団にいた母校も今は残念な状況です。ただこの合格率だけで学生も御父兄も教員の先生方までもが、揃って福歯大に自信を無くしている様に強く感じます。しかし同窓生を見てくださいます。私の知る限りでも各地区の歯科医院で二日の患者さんの来院数がトップだったり、福岡県や熊本県においても複数の診療所を展開、関西地区では長年他大学の先生方との勉強会を主催、大分県では地域活性化活動のリーダーだったり、他大学に負けない優れた社会人としての歯科医師が多数活躍中です。これも以前のメッセージにあった「二人に寄り添う心」を大事にする校風のお陰と考えます。勿論患者さんの前に立てなければその力を発揮することはできません。どうか全力で国家試験を突破してください。後輩の諸君が参戦するまで我々先輩も頑張ります。我々の仕事は高齢者の口腔機能を改善し年金生活の質を高め結果、毎年増加する医療費を抑制する重要な仕事です。ただ、この事に私が気付くのに30年必要でした。

New Sophia コラム

ムラサキシキブ

ムラサキシキブ Calliandra japonica はシソ科ムラサキシキブ属の低木。秋につける小さく艶やかな紫色の美しい果実が名の由来。その本家の紫式部の作品で最も有名なものはもちろん源氏物語。藤原道長の娘の家庭教師をしながら完成させた大部の小説。源氏物語で思い出すのは、下関在住の小説家の田中慎弥。彼は何度も芥川賞の候補になりながらも受賞に至らず、ようやく2016年に受賞したが、その後に新聞にコメントを載せていた。たしかこんな内容だった。「これまで働きもせず何事も成していない自分であるが、電車に乗っていた時に、この車両で源氏物語を原文で2回も読んだ者は自分だけだろうと思うと自分の存在を確認できた」と。これ以来、源氏物語と田中慎弥と連想するようになってしまった。そして電車に乗るたびに、この車両で自分だけにできることは何だろうか考えるが、なかなか見つからない。皆さんはなにかお持ちだろうか？



(内藤 徹)

編集後記

立春とは名ばかりの寒さが続きます。新型コロナウイルス関連の暗い話題が多い中、令和3年度の第1号をお届けいたします。昨年の新語・流行語大賞の年間大賞は「3密」、昨年の漢字は「密」と良くないイメージの「密」ですが、本年は読者の皆様と学園を「密」につなぐ広報誌づくりに編集部一同で取り組んでまいります。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。